

感染症情報 9月18日～24日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	529例(堺市	28例)
②RSウイルス感染症	521例(堺市	59例)
③溶連菌感染症	269例(堺市	24例)
④手足口病	176例(堺市	11例)
⑤ヘルパンギーナ	90例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	19例(堺市	2例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比23.6%減の1,821件であった。今回は感染性胃腸炎が第1位となり、以下RSウイルス感染症、溶連菌感染症、手足口病、ヘルパンギーナの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週比23%減、堺市で前週比20%減であった。2位に下がったRSウイルス感染症は府下で前週比30%減、堺市で23%増であった。定点当たりで見ると、前週が3.7で、今回は2.6であった。溶連菌感染症は府下で前週比13%減、堺市で22例→今回24例であった。手足口病は府下で前週比24%減、堺市で前週26例に再増加していたが、今回は11例であった。ヘルパンギーナは府下で前週比15%減、堺市では前週4例→今回2例となった。

インフルエンザは府下で前週34例→今回19例であった。堺市では前週0で今回は2例あった。

麻疹や風疹の報告はなかった。